

茨城県の地震・風水害に備えるための啓発リーフレット・動画を作成！

～檜山沙耶さんが解説する「学ぶ・備える いばらきの地震・風水害」～

日本損害保険協会関東支部茨城損保会(会長:上西 大介 東京海上日動火災保険株式会社 茨城支店長)では、「茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会」で地震等の自然災害リスクの正しい理解や、いつ発生してもおかしくない災害に対する必要な備えをしてもらうための普及啓発活動に取り組んでいます。

同協議会では、県民への周知・啓発として、茨城県内の自然災害リスクを学び、備えるためのリーフレット「学ぶ・備える いばらきの地震・風水害」を3万部作成し、県・協議会ホームページなどにも掲載の上、県民への周知・啓発を行っています。今年度は、能登半島地震の状況を踏まえ、これまでのリーフレットの内容を大幅に見直し、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い保険である「地震保険」に関するページを単独で設け、被災後の当面の生活を支える経済的な備えについて県民がより身近に理解しやすいような工夫をしました。

また、県民へのさらなる周知策として、2024年11月30日につくば国際会議場で開催した『第1回いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 in つくば』で、いばらき大使で防災士の、檜山沙耶さんが茨城県の自然災害リスクを分かりやすく解説した「さやっち先生の『学ぶ・備える。いばらきの地震・風水害』」講座を収録した動画を公開しました。啓発リーフレットとあわせて確認することで、今後の災害の被害をできるだけ小さくするための備えについてわかりやすく学べる内容となっています。

当支部では、引き続き、茨城県民の防災・減災に係る意識向上に向けて取り組んでまいります。



【動画】<https://youtu.be/NzkNRo7a6cQ>

【リーフレット】https://www.sonpo.or.jp/news/branch/kanto/2024/pdf/2412_leaflet.pdf